

## 教科名（ 保健体育 ）

### 1 生徒の現状分析

観 点	分 析 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習カード等の内容を個人 PC を活用した確認テスト等で知識の定着を図る。基礎基本の徹底に加え、必要に応じた技能の選択及びプレーができるよう小集団での活動を充実させる。(1年)</li><li>・学習カードを活用し、保健分野・体育分野のより一層の知識定着を図る。運動が苦手な生徒に対して個別にアドバイスや段階を踏んだ指導を継続して行う。ポイントをおさえた視覚的にもわかりやすい指導と基礎・基本を定着させる。(2年)</li><li>・知識に関しては、毎年ルールが変わる種目もあるため、新しいルール等をワークシートに分かりやすくまとめるようにしている。技能に関しては、特に運動が苦手な生徒に対しては基礎・基本ができるようにしている。(3年)</li></ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>・ICT 機器を効果的に取り入れ、自己の動きを客観的に捉えるとともに、課題の明確化と課題解決の記録を蓄積する。また、それらの情報を用いて学び合いが活発化を促す。(1年)</li><li>・ICT 機器を効果的に活用し、仲間同士で動作の確認や課題を明確化するために対話的活動を取り入れる。学習カードに課題や課題解決法を記入させる。(2年)</li><li>・レポートやワークシート、定期考査だけではなく、話し合い活動を積極的に取り入れている。お互い教え合ったり作戦を考えたりしている。(3年)</li></ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・自他及び集団の課題に対して積極的に取り組ませる。また、自ら課題に気づき、他者と協力しながら主体的に課題解決が進むよう、ICT 機器の活用と補助資料等を充実させる。(1年)</li><li>・運動やスポーツに関心が高いので、特性や練習方法の「ねらい」や「ポイント」をわかりやすく理解させ、より一層、主体的な取り組みができるように働きかける。(2年)</li><li>・単元毎にその種目の「楽しさ」等を伝えている。その種目が好きになると、主体的に学習に取り組むようになる。特に運動が苦手な生徒に対しては技能の向上よりも楽しさを重視して取り組ませている。(3年)</li></ul>

### 2 指導方法の課題分析

- (1) 運動やスポーツに対する高い関心があるので、より一層、練習等に対する主体的な取り組みができるように働きかけていく。
- (2) 運動やスポーツが苦手な生徒に対しては、個別指導を継続して実施する。
- (3) 保健分野・体育分野ともに、より一層の知識の定着を図る。
- (4) 課題解決のための教え合いや話し合いの機会を設ける。
- (5) ICT 教材を活用し、知識と技能を一体としてとらえ技能の向上を図る。

### 3 授業改善に向けての方策

- (1) 主体的な取り組みを推進させるために、運動やスポーツにおける特性や練習方法における「ねらい」や「ポイント」を授業の初めに理解させる。
- (2) 生徒の技能の習得状況に応じて、練習課題を提示して無理のない範囲で取り組めるようにする。
- (3) 知識を定着させるために、毎時間の授業で取り組んだ内容の振り返りを行い、また、次時の始めにも前時の確認を行う。
- (4) 男女分け隔てなく、互いの動きや取り組みを確認し合い、認め合う機会を設ける。
- (5) ICT 教材を活用し、仲間同士で動作の確認を行い、アドバイスや対話的な活動を取り入れる。

### 4 その他

- (1) 新体力テストの結果から、自己の体力や運動能力に着目させ、一層の伸長を心がけさせる。
- (2) 新体力テストの結果を振り返り、部活動にも活かしていくよう働きかける。
- (3) オリンピック・パラリンピックの歴史・競技特性・運営の仕方に着目させ、スポーツとの関わり方について理解させる。

